

2014年1月1日  
テオリア第16号

定価 350円  
毎月10日発行  
定期購読料 年間 4000円  
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

# θεωρία テオリア

発行 研究所テオリア  
東京都千代田区内神田1-17-12  
勝文社第二ビル101  
TEL & FAX 03-6273-7233  
ホームページ  
http://theoria.info  
E-mail: email@theoria.info

## 「暴走する社会」をどうしたら止められるのか



12月6日、安倍政権は世論の反対、国際社会からの懸念の声には一切耳をかさず、国家による情報隠蔽を「保護」し、逆らうものを厳罰に処す秘密保護法制定を強行した。

安倍政権が決定した「国家安全保障戦略」は愛国心、自衛隊の海兵隊化、武器輸出三原則廃止、海外派兵推進、敵基地攻撃能力などを打ち出した。

「積極平和主義」と称して「戦争する国」への道をひた走っている。

同時に弱者・貧困層を切り捨て、ブラック企業を保護し、「世界で最も企業が活動しやすい国」を目指す政策も進んでいる。

本号では「暴走」をどうしたら止め、対抗できるのか、座談会を行った。

### 座標塾第X期 (2014年1月〜3月)

- 第1回 消費増税とデノミクスのアキレス腱 1月24日(金)
- 第2回 いま脱成長論が脚光を浴びる 2月21日(金)
- 第3回 改憲を阻むための新しい論理 3月20日(木)

講師 白川真澄

時間 午後6時半〜9時

会場 文京シビックセンター(予定)

参加費 通し2500円(会員1500円)

1回1000円(会員500円)

要申込

連絡・申込先 研究所テオリア

03-6273-7233

email@theoria.info

### 国連・憲法問題研究会講演会

#### レイシズムと安倍政権

——なぜ隣人を「憎む」のか

安田浩一さん 文京シビックセンター地下1階学習室

1月18日(日) 午後6時半

参加費 800円(会員500円) 国連・憲法問題研究会

※日時・会場が変更になりました

### 時局講演会 安倍政権は、長期政権たりうるか?

白川真澄(ヒールズ・プラン研究所)

1月19日(日) 午後1時半

エル大阪(地下鉄又は京阪線天満橋駅下車徒歩7分、テオリア読書会名)

テオリア読書会(大阪)

### インフォメーション

2014年反対同盟旗開き

1月12日(日) 正午/横堀農業研修センター/三里塚芝山

連合空港反対同盟(世話人・柳川秀志)

国連・人権勧告の実現を1・25集会・デモ

1月25日(日)午後1時半/代々木公園野外ステージ/実行委員会

### 紙面紹介

新年座談会「暴走する社会」をどうしたら止められるのか

稲葉剛・加藤亨子・星慈恵・満田夏花…… 2〜5面

書評「食の戦争」…… 6面

秘密保護法廃止を/国立市議会意見書 重松朋宏…… 7面

書評 生活保護 和久井みちる/三里塚…… 8面

テオリア 2014 新年座談会

「暴走する社会」を

どっしりしたららめりめられるのか

「暴走する社会」は

どっしり向かうのか

秘密保護法「成立」が

意味するもの

かけ、1万人以上の利用者が審査請求を行った。生活保護法改悪案が12月6日、臨時国会で成立した。生活保護法改悪案は、申請に当たっては申請書を出さないといけないとわざわざ法律に盛り込んだ。申請時、様々な添付書類、給料明細、銀行通帳などを全てそろえないと申請できないと読めるような文言が入っている。



ほしのめぐみさん

かかるのか。辺野古の問題は本当に重大な局面。沖縄知事が防衛省の出した埋め立て申請の承認を出すかどうかが焦点。以前の辺野古沖埋め立て案で、防衛施設局が深夜にまぎれて海上ボーリング調査をしようとしたとき以来の山場。



みつたかなさん

残念ながら、生活保護利用者に対する偏見が強いので、正直言って反対の広がりをつくれない。毎月第一水曜に生活保護引き下げなどに反対する官邸行動を続けてきた。12月4日は参加者が50人位。7時まで官邸前で行動した後、議員会館前の秘密保護法反対集会に合流した。

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ



みつたかなさん

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

た。13年、私は他の市民運動の人たちと秘密保護法を考える市民の会を作り、運動に取り組みました。NPO活動にとっ

社会の最低限のあり様を壊す「暴走」が続いています。2013年秋の臨時国会では、秘密保護法、国家安全保障会議法のような集団的自衛権行使へ軍事態勢を強め、社会の管理を強める法

安倍政権を先頭とする暴走をどのようにして止め、対抗するのか。さまざまな運動に携わっている人たちが集まっていた。

安倍政権が集団的自衛権などを目指す大きな流れの中に私たちはある。それを別にしても秘密保護法はひ

安倍政権が集団的自衛権などを目指す大きな流れの中に私たちはある。それを別にしても秘密保護法はひ

安倍政権が集団的自衛権などを目指す大きな流れの中に私たちはある。それを別にしても秘密保護法はひ

安倍政権が集団的自衛権などを目指す大きな流れの中に私たちはある。それを別にしても秘密保護法はひ

安倍政権が集団的自衛権などを目指す大きな流れの中に私たちはある。それを別にしても秘密保護法はひ

安倍政権が集団的自衛権などを目指す大きな流れの中に私たちはある。それを別にしても秘密保護法はひ

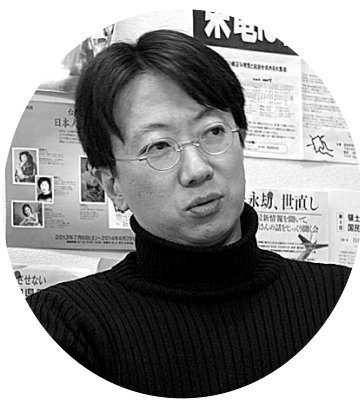
出席者 稲葉 剛 (自立生活サポートセンター・もや)

加藤 宣子 (辺野古への基地建設を許さない実行委員会)

星 恵 (ヒールズ・プラン研究所)

満田 夏花 (FoE Japan)

司会 繁山達郎 (研究所テオリア)



いなばつよしさん

でも、街頭シール投票をやっていると多くの人がいやそうな顔をしながら通り過ぎていく。無関心な人が

でも、街頭シール投票をやっていると多くの人がいやそうな顔をしながら通り過ぎていく。無関心な人が



かとうのりこさん

が多い。秘密保護法で情報をとるのが困難になる。アメリカから情報を取って、日本で開示をしたら、秘密

が多い。秘密保護法で情報をとるのが困難になる。アメリカから情報を取って、日本で開示をしたら、秘密

が多い。秘密保護法で情報をとるのが困難になる。アメリカから情報を取って、日本で開示をしたら、秘密

辺野古は重大な局面

加藤 辺野古への基地建設を許さない実行委員会のメンバーなどとしてずっと沖縄に関わっています。

配備も最初は政府が隠していたが、事業者が行う環境アセスの過程で発覚した。

配備も最初は政府が隠していたが、事業者が行う環境アセスの過程で発覚した。

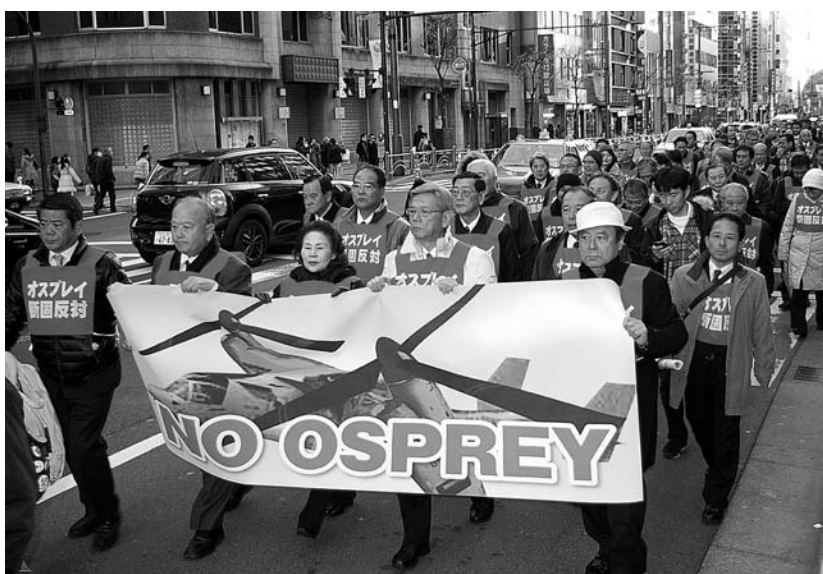
配備も最初は政府が隠していたが、事業者が行う環境アセスの過程で発覚した。

社会保障全体が縮小へ

稲葉 生活保護法の問題は社会保障制度全体に関わっている。秘密保護法に隠れて、ほとんど議論されることがなく、社会保障プログラム

稲葉 生活保護法の問題は社会保障制度全体に関わっている。秘密保護法に隠れて、ほとんど議論されることがなく、社会保障プログラム

稲葉 生活保護法の問題は社会保障制度全体に関わっている。秘密保護法に隠れて、ほとんど議論されることがなく、社会保障プログラム



オスプレイ撤回東京行動=13年1月27日

病支援についても、医療費の自己負担の割合を高めていく。社会保障全体がなるべく家族で、地域でやってくださいと移行していく。生活保護は最初のターゲット。残念ながら、生活保護は世間の偏見が強いのでたまたま、大きな圧力団体もなく、我々も弱小。一番たたきやすいところを削って、それで溜飲を下げてくれる人たちもいる。その結果として、自分たちの足元がすくわれる。医療、介護、年金など命と生活を支える制度全体が縮んでいく動きにつながりかねない。このままではそうなる、訴えていきたい。

星野 数年前初めて高江に行ったときはショベルカーを力で止めたり、防衛局・作業員と住民や座り込み支

援者の攻防が目に見える形であった。今はそういう目に見える攻防もなくなっ、消耗戦。毎日座り込みをしているのに圧倒的に人がいない。既にヘリパットがひとつ建設されて、今日もショベルカーが入って作業しているのを住民は見ざるを得ないという状況。

よく言われることは、「高江の運動は本土の人の運動だ」と、少し冷めた目で見られているところがある。だけど私が面白いと思うのは、高江に移住した沖縄出身やヤマト出身の人も、その地で30年間住んでいる人も共生して住民の会を形成し、すごく多様性がある。だから、関わっていきたいと思うところがある。東京で自分のやりかたで同じ世代などに高江の状況を伝えたい。住民の人と丁寧につなげていきたい。

満田 F O E Japan は原発問題はやってこなかった。3・11の後、スタッフで1週間ぐらい議論して原発を活動テーマと決めた。私は自ら希望して原発担当になった。

それ以降、20ミリシーベルト基準撤回運動、「避難の権利」運動、自主的避難の賠償問題、原発再稼働や原子力規制委員会の問題などいろいろと取り組んでいる。東京や関西で3・11の後、

### 秘密保護法との共通点

稲葉 秘密保護法も生活保護法改悪も、共通しているのは官僚・役所の裁量に任せる部分が多い。秘密保護法は行政機関の長が秘密を指定できる。政令という言葉が法律に36回出てきて、細かくは政令で定める。「改正生活保護法」も細かくは全て省令で定める。だから、官僚がグリップを効かせる。90年代から情報公開を求める運動、オンスーパーの活動があった。生活保護の問題では、生活が困窮している当事者が申請書を用意し、支援者が付き添って保護を求める権利を行使していく活動が行われてきた。

以前は役所がこの人には申請書を渡すが、この人には渡さないと恣意的に選別していた。それが、知る権利や生存権を市民の権利として求めていく運動が広

国内で前から手弁当で専門性をもって市民運動をやってきた人たちとつながりがあった。3・11の後、スタッフで1週間ぐらい議論して原発を活動テーマと決めた。私は自ら希望して原発担当になった。

それ以降、20ミリシーベルト基準撤回運動、「避難の権利」運動、自主的避難の賠償問題、原発再稼働や原子力規制委員会の問題などいろいろと取り組んでいる。東京や関西で3・11の後、

国内で前から手弁当で専門性をもって市民運動をやってきた人たちとつながりがあった。3・11の後、スタッフで1週間ぐらい議論して原発を活動テーマと決めた。私は自ら希望して原発担当になった。

それ以降、20ミリシーベルト基準撤回運動、「避難の権利」運動、自主的避難の賠償問題、原発再稼働や原子力規制委員会の問題などいろいろと取り組んでいる。東京や関西で3・11の後、

### 秘密法がつくるすさんだ社会

加藤 官僚の問題で言うと、沖縄の問題でも省庁交渉を何度かしているが、基本は外務省・防衛省のターゲットだから私たちの範囲はこまですという言い方を環境省はいつもする。それでも、環境アセスメントでいろんな情報を得て、外務・防衛に突きつけるといふのをやってきたのが、これからはやりにくくなる。

満田 私は長いこと環境系の財団で働いていた。環境省発足当時は暴れん坊の官僚がいて、上の方針に逆らって自らの信念を通したりもした。時代の流れなのか。官僚たちがそういうことをしなくなった。原発とか被ばく問題になると、官僚たちの態度がいかに堅いのか。

私たちが人間。それなのに官僚は機械のような答えを繰り返す。それも被害者である住民に対しても同じ答えをする。それによって人によっては、深刻な状況を放置して、何もせずに官僚答弁を繰り返す政府に対して

れなくなると、国力が見えなくなると国力もないのに戦争に突き進んでいったと新聞で指摘されていた。稲葉 貧困問題をどうやって可視化するかが課題で、ここ数年ようやく見えるようになってきた部分がある。それを覆い隠そうという。民主党権になって、ようやく相対的貧困率が公表され、貧困対策が政治の場で議論されるようになった。民主党権は原発問題ではだめでしたが、いくつかの分野では開示されてない情報が開示された。

私も民主党権の時に厚労省審議会委員をさせてもらうなど、NPOのメンバーも参画。新しい公共を作り出していき動きが萌芽としてはあった。だが、民主党権はガバナンスが効かないといわれ、自民党政権に戻った。

自民党に戻ると、かつての高度経済成長的な幻想を振りまいて、細かいことは全部お上で決めてくれと。トリクルダウンでおこぼれが庶民に回ってくるから、政治に主体的にかかわる必要はないと、自民党・官僚にすべて任せてしまう。そのおこぼれを享受すればいいという雰囲気は12年12月の自民党圧勝を導き出したと思っ

その流れの中で臨時国会でのさまざまな法案が出てきた。公共とは何か。それは誰が担当のかがいま一番問われている。

加藤 戦時中統計が公表されなくなると、国力が見えなくなると国力もないのに戦争に突き進んでいったと新聞で指摘されていた。稲葉 貧困問題をどうやって可視化するかが課題で、ここ数年ようやく見えるようになってきた部分がある。それを覆い隠そうという。民主党権になって、ようやく相対的貧困率が公表され、貧困対策が政治の場で議論されるようになった。民主党権は原発問題ではだめでしたが、いくつかの分野では開示されてない情報が開示された。

## 「暴走する社会」に 対抗する戦略はあるか?

### 長期ビジョンがない政権

もしも知事が承認をして埋め立てが始まるとなれば泥沼化する。三里塚のような見方が多い。ただ、どういふ実力阻止闘争ができるのかも見えない。

もう一つの見方は、沖縄の民意は圧倒的に反対だし知事も有終の美を飾りたから、不承認でほど。長期ビジョンが立てられる状況にない。

稲葉 むしろ政府・自民党

(3面から続く)
の側に中長期的なビジョンがない。この間矛盾した政策をしている。

一方で生活保護引き下げで扶養義務を強化する。家族で助け合ってくださいと、自民党改憲草案にも復古的・前近代的な社会保障観を打ち出している。

成立した国家戦略特区法は国家の株式会社化。特区に指定された地域では公立学校の運営を民間に開放する。完全にアメリカ型の民営化路線。アメリカでは学校給食にも外食産業が参入。ファーストフードが出されるようになり、児童の肥満が増加した。推測ですが、日本でやると学校給食はワタミとかが作ることになりかねない。

公的なものを国鉄、郵政と切り売りしていった最終段階として、学校まで株式会社化していく。前近代的な保守主義とアメリカ型の新自由主義が非常に奇妙な形でミックスした政策を進めている。

社会保障を家族で養ってくださいといっても成り立たない。年金制度では、日本は国連社会権規約委員会からも最低保障年金を導入しろといわれている。非正規第一世代はすでに40代・50代で、将来、低年金・無年金になるのは確実。前の世代とは違って、持ち家なんか持てない。将来は生活保護を利用するしかない。だから、中長期的に考えれば、国家運営という立場

に立ったとしても、成り立たない。原発にしても、小泉が言っているように核のごみをどうするのか。中長期的に考えているのかと言いたくなるような政策が続いている。

そのほころびをつくろうために、一方で幻想を煽る。アベノミクスで経済がよくなるのか。オリンピックで景気が浮揚するとか。

今の政治は「20世紀少年ワールド」。浦沢直樹の漫画のように昔の高度成長への

「ゲリラ戦」でたたかう

加藤 一つ面白い話。辺野古の埋め立て用土砂は侵略的外来種であるアルゼンチン蟻が繁殖している地域から搬入する。繁殖すればサトウキビやパナップル等トウキビやパナップル等に打撃を与える。

11月29日の環境省交渉、防衛省交渉でもアルゼンチン蟻の問題を取り上げた。環境問題をやっているグループとしてはアルゼンチン蟻で闘おうと。埋め立てをさせない小さな闘いをたくさん見つけてください。

星野 ゲリラ戦ですね。加藤 ゲリラ戦をたくさんやらないといけない。沖縄も蟻のことを取り上げている。アルゼンチン蟻は生物多様性の問題をやっている人から出てきた話。現場でがんばっている人の小さな知恵で本当に大切。星野 高江の問題でも、基地問題は戦争、環境の問題につながってくる。

ノスタルジーに基づく幻想をふりまいている。世の中良くなるんだという雰囲気をつくりだす。中国・韓国との対立による危機感を感じて、ほころびを見せないようにしていく。すくなく賢くない政治に乗せられている。満田 それに乗っている人が多い。安倍首相も怖いけど、それに乗って安倍を良しとしている人の方が怖い。



反貧困集会=13年10月14日

だから、いろんな立場から発言している人がいる。昆虫学者が政治とか一切発言されないような学会で、高江のヘリパット問題と昆虫の関係について発表された。高江は貴重な植物や昆虫などがいるんだと。いろんな自分の持ち場から、原発や基地の問題で分野を超えた人がゲリラ的にやっています。

富山でがれき搬入に反対した女性たちが市長にいやがらせ告訴された。代表の女性が泣きながら、同じ立場の人に会えてよかったと。高江は貴重な植物や昆虫などがいるんだと。いろんな自分の持ち場から、原発や基地の問題で分野を超えた人がゲリラ的にやっています。

稲葉 古くて新しい問題でシングルイシューとマルチイシュー。僕くらいよりも上の世代はいろんな問題が重なっていると、それをマルチで語ってしまう傾向があるが、昔の政治党派による引き回しもあり、マルチに対する抵抗感が根強くある。そのため、シングルイシューにこだわる社会運動が広がってきた。

しかし、官邸前行動が一つですが。この間、脱原発の人たちが始めたのがきっかけになって、生活保護やTPP、それ以外の問題でも官邸前アクションをやっている。互いに行き来が始まっている。一緒にやったらという話もあるが。全て安倍政権が悪いというところでまとめようとすると、そこに無理が生じてしま

いことを伝えていかないといいない。シングルイシューという言葉が大きくなっている。シングルイシューの範囲を広げて、みんな生きていきたいんだと。運動同士の壁を乗り越えていって、手をつないでいけたらと切に思う。加藤 いろんな人をつなげていくことはすごい大事。運動の現場にいて、自分のやっていることだけで精一杯という状況を相手に作らせてしまう。そこから、つぶされていく。分断されないようにする。そこが厳しい。オール

運動側の課題

運動側は、いろんな人をつなげていくことはすごい大事。運動の現場にいて、自分のやっていることだけで精一杯という状況を相手に作らせてしまう。そこから、つぶされていく。分断されないようにする。そこが厳しい。オール

私もあるべく反原発集会に顔を出して、昔からホームレスが原発労働に駆り出されてきた話を語る。TPPの集会でも、TPPは国民皆保険・社会保険の問題につながるという話を語る。なるべく、それぞれのイシューとイシューをつなげて話をする。

上からではなくて、どうやってつながっていくのかが一番の課題。満田 気になっているのは、原発問題は3・11の後、急激に広まってた皆さんの人が関わっている。中には地道なやり方ではなく、語弊があるかもしれないが大きな声で反対を叫ぶことが目的化している人たちがいるような気がする。例の私たちのデモをテロリスト呼

ばわりした石破発言とは全然違う話ですが。ただ、私は街頭で大きな声でスピーチしているときに、通行人がどう思うかが気になる。社会的に盛り上がっている時は強い言葉で語ることにしている。いろんな人が加わってくることがある。少し盛り下がっているときに強い言葉で語ることによって、引く人がいる。私たちが気をつけなければならぬのは、いろんなアプローチがあってもいいが、あまりに強い主張を突きつけすぎると、運動が広がらないという恐れを最近感じている。

反原発運動も3・11後、急激に盛り上がったがゆえに、直情径行になりすぎていく努力が必要。無関心層や関心はあるが積極的ではない層に働きかけていく必要性を感じる。加藤 やはり私たちのところではいぬいにつなげていくのが一番大切だと思

運動の役割分担

加藤 役割分担がある。私も最初は運動をいかに広げるか、敷居を下げるかに興味があった。20年やっていると、次どう闘うか戦略を考える。例えば、ジュゴン保護区を作ろうという提案が出て辺野古への関心が高まる。そこで広がったところがある。

今は運動を広げるといって、若く世代にやってみようというところをもっと若く世代にやってみよう、具体的にたたかえる個別イシュー、論点を探していくということを中心。なかなか広げることが難しい。少しずつ役割分担し、つながりながら大切。

辺野古は多くの人が興味を持ってくれると思う。ただ、先ほど言った安全保障とか外交の問題だから、飛躍が必要。そこら辺難しいと思う。星野 原発事故以降に社会に疑問を持って、声を出していかないといいない。思った若い人たちが、私も含め、ずっと運動をやっている。江へよく行く。座りこみ

あって」と言くと、少し醒めた視線を感じる。身近にある問題とか、戦争とか、そういう問題が自分の人生とクロスしない。中立という立場があるとあまり多くの人が思っていない。中立ではなく、軸を持たないのだめだろうと思うのだけだ。

## 60年代のとりえ方

星 関わると、そっち側の人間と見られる。左翼という言葉を簡単に使われる。学生の頃、座り込み、沖繩という言葉を出しただけで「左翼だね」「左よだね」と言われる。左とか右とかそういう問題ではないと思う、別に左でいいじゃんと思うが。

日本社会の根深い問題なのかと思う。60年代学生運動のころは、「あ、あいうやり方だから失敗した」。いろんな人がやっていた。



福島原発告訴団が検察審査会申し立て=13年11月22日

加藤 私は20代から運動をやっているが、89年大学入試で普段の実行委員会では最若手。学生の頃は学生運動世代の失敗は内ゲバに見られるような内部対立と見られていた。今の若い人はどう思っていますか。

星 映画好きなら若松監督の映画とかで連合赤軍とか知っているかもしれない。そんなに知らなくても、こぶしを振り上げてデモとかやっているのは昔の学生運動をやっていた人たちの残党だ。石破的な絶叫して意見を押し付けているだけというイメージ。

日本では自分の意見を言うことがはばかられる。同調圧力が強いから。自分の意見をしっかりと、それは押し付けだ」というような。他の社会では当たり前な普通に自分の意見を言っているだけなのに。そういう中で意見を言う者がつぶされる。

加藤 学生運動時代の後、ノンポリ時代があった。私は「天皇崩御」、天安門事件、ベルリンの壁崩壊、ソ連消滅という時代に学生時代をすごしたので、社会的に発言することがそんなにばからなかった。圧倒的マインリティであることは確かだけれど、発言することが恥ずかしいというのはなかった。

星 でもここまで来ると、今が激動している。加藤 確かに今が激動。(笑い)

## ソーシャルビジネスと運動

稲葉 もやいにも、卒業で貧困を取り上げるので、話を聞かせてくださいと来る学生が増えている。話してみると、ソーシャルビジネスへの関心が高まっている。社会的企業家になりたて。ビジネスを通して貧困問題を解決したいというのが多い。

それは否定しない。ビジネスで解決できる分野もある。それだけではなく、今回のように制度自体を悪い方向に変えようというとき、

加藤 社会的にかっこいい部分に惹かれるのはある。私は大学を卒業した後、環境系のグループに属していたが、周りでアントレプレナー、社会的企業家を目指している人が多かった。社会を変えることで自分も方向を変えようというとき、

## 私たちはどう対抗していくのか

### 雇用流動化の推進

司会 今回の秘密保護法、NSCなどに続いて、国家安全保障基本法案などを出す動きがある。社会保障プログラム法の具体化、原発再稼働の動きも出てくる。今後の社会や運動の見通しをお願います。

稲葉 臨時国会では雇用の問題はあまり出てこなかったが、今後非正規雇用拡大の動きが絶対出てくる。貧困を拡大させかねない雇用流動化に反対して労働組合と一緒にやっていきた

加藤 確かに今が激動。(笑い)

星 でもここまで来ると、今が激動している。加藤 確かに今が激動。(笑い)

のことか語りなくなる。しかし、自分と方向が違いうからさよならではなく、そういう人たちと付き合っていくかという問いがある。

稲葉 ソーシャルビジネス系の人は新自由主義と親和性が高い。市場経済がどんどん広がっていく。それは避けたい前提として、どう個別のイシューで改善していくかという意識になってしまっている。

それでも、対話の回路をきちんと作っておくことは大切。

先日の集会で、「日本とアメリカに思惑に矛盾がある」という発言があった。どんどん延びればアメリカとの関係も悪くなる。展望が開けるかもしれない。思いやり予算を出している限り、アメリカは吸い付いてくる。それがうまくいかなくなれば、アメリカ側からやめるという動きが起きるかも。

辺野古は18年間阻止し続けている。終わりが見えないうが、延ばさせて基地をつくらせないしかない。3ヵ月、1ヵ月遅らせるという方法を探していくしかない。

星 今後は、高江を気にしている東京の人が1人2人行って少し力にはなる。東京にいなから、それを広げられるか。地道につくって広げていって、年一回大きなイベントをやっている。東京でできる抗議活動も重要だと思っている。

もうひとつは高江のことを気にする有志たちが中心にスラップ裁判を無効にして、計画と全然違うことをやっているのが実情。

加藤 沖繩に関しては名護市長選挙(1月19日)の結果を見ないと。知事に埋め立て申請を不承認にさせて、名護市長選で稲嶺進市長再選を勝ち取る。その後の展望に関しては、まだ具体的なことがいえない。

万が一埋立て承認の場合、その期間をどのように運動していくか運動側もつめていかないとけない。

先日の集会で、「日本とアメリカに思惑に矛盾がある」という発言があった。どんどん延びればアメリカとの関係も悪くなる。展望が開けるかもしれない。思いやり予算を出している限り、アメリカは吸い付いてくる。それがうまくいかなくなれば、アメリカ側からやめるという動きが起きるかも。

## 2014年に向けて

司会 なかなか明るい展望とはいきませんが、2014年の抱負をお願いします。

加藤 2014年もただあきらめずにやるしかない。辺野古案がぶれるまで倒れないようにやる。

稲葉 生活保護問題に関しては、2014年は第2弾、第3弾の引き下げが予定されている。第一弾の引き下げに対する不服審査請求の準備は済ませた。これからの引き下げに対してストップをかけたい。

司会 今日はありがとうございました。

### テオリア論集1

世界金融恐慌のクラクリを暴く  
—D・ハーヴェイ『資本の謎』を中心に—  
森田 成也

定価 5000円  
発行 研究所テオリア

### 報告55集

「3・11」2年 復興と除染の現実  
福島・飯館村から見えるもの  
小澤 祥司

定価 5000円  
発行 国連・憲法問題研究会

# 評論を削り次世代に犠牲を強いるTPP

## 「食の戦争 米国の罠に落ちる日本」 鈴木宣弘／文春新書

### TPP年内妥結を断念

シンカポールで開かれたTPP交渉の閣僚会議は、目標とした年内妥結を見送らざるを得なかった。農産物の関税、知的所有権などをはじめとする数多くの項目で、米国のごり押しとも言える強硬な主張に対して各国の反発が高まったためだという。

### 再び、農業分野から

本書は13年8月に出版されたものである。帯に「大豆、トウモロコシ、牛乳、油。日本の食卓が危ない！」と謳われているように、TPP協定によって進行しつつある社会の危機を、農や食の視点から論じたものである。

### 社会全般の市場化

TPPは「環太平洋戦略的経済連携協定」と訳されることからわかるように、その効力は単に貿易の自由化や関税の撤廃にとどまらず、社会全般のルールが競争原理・市場経済の支配下に置かれることになる。

TPPへの懸念は、初めは、農産物の輸入拡大によって農産物価格が低下し



### 食料の安さだけを求めること

「戦略物資としての食料」と題した第一章で強調され

た。TPPが成立すれば、国民皆保険や公的医療制度、知的財産権や環境や安全基準など、広範な現行の社会システムが崩壊を招きかねないことが、次第に明らかになってきている。

ているのは、食料を通じて世界支配を目論むアメリカの意志だ。

著者は、「自由貿易の推進によって、食料の安定供給が可能だ」とする自由化論者に対して、豊富な事例をもとに、それでは優越的な立場にある者が利益を増やし、弱い立場の者がますます疲弊していく構造を説明する。そして食料の安さだけを求めることは、命を削り次世代に犠牲を強いるものだと警鐘を鳴らす。

第二章の「食の安全を確保せよ」では、低脂肪乳の問題、BSE（狂牛病）問題、遺伝子組み換え（GM）農産物の問題、BST（牛成長ホルモン）の危険性などを題材に、これらの食品に含まれる危険性と、安全基準がいかに骨抜きにされようとしているのかを報告される。

また、食料輸入大国の日本では窒素収支の不均衡から環境下における硝酸態窒素が増大することになる。これらの硝酸態窒素は地下水を汚染し、人間の体内に入り、乳児の突然死や消化器系がんの増大をもたらすことが指摘されている。EUでは予防原則に立つて様々な規制が定められているが、日本ではなんの規制もされていないという。またTPPが成立すれば、輸入農産物の残留農薬基準も緩和するよう圧力をかけられることになる。

しかし、「ある国の富裕層は、日本に輸出している自国の農産物を食べず、日本から輸入した何倍もの値段の日本野菜を食べる」という事例を聞かされると、どんなに危険なことかがあらためて浮き彫りになる。

### 危機にさらされる安全基準

第二章の「食の安全を確保せよ」では、低脂肪乳の問題、BSE（狂牛病）問題、遺伝子組み換え（GM）農産物の問題、BST（牛成長ホルモン）の危険性などを題材に、これらの食品に含まれる危険性と、安全基準がいかに骨抜きにされようとしているのかを報告される。

第三章の「遺伝子組み換え作物戦争」の主旨も、アメリカである。かつてアメリカの穀物協会幹部が、「小麦は我々が直接食べるので遺伝子組み換えにはしない、大豆やとうもろこしは家畜のエサだから構わないのだ」と発言したことがあ

るそうだ。日本ではもちろん大豆は人間の食物だ。スーパーで売られている納豆の多くは、表示に「アメリカ、カナダ産」となっている。今は「遺伝子組み換え大豆不使用」と書かれて

いる製品が多いが、本書を読めば、それが決して安心にはつながらないことがわかる。

農薬メーカーのモンサント社は、その中でも主役中の主役だ。まず全ての作物を根こそぎ枯らしてしまう「ラウンドアップ」という強力除草剤を売り込み使用

されているが、日本ではなんの規制もされていないという。またTPPが成立すれば、輸入農産物の残留農薬基準も緩和するよう圧力をかけられることになる。

さらにモンサント社は損害賠償ビジネスも展開する。農家の畑の作物を持ち帰ってDNA鑑定をし、自社製品のDNAが含まれていれば多額の賠償金を請求する。これによってアメリカやカナダでは多数の農家が破産したそうである。

### TPPをめぐる利権構造

第四章「TPPと食」では、さらにTPP交渉の内部に分け入り、アメリカの戦略とそれに対抗するところか、自らの利権のために進んでそれに屈服していく政界、経済界、マスコミの実態が赤裸々に報告される。

「このままでいいのかわたしたちが選ぶ未来は？」が明治大学で行われた。主催は実行委員会。諸運動が互いの違いを留保しなから、それを超えて結びつくために共有すべき共通認識は何なのかをめぐって報告・討論が行われた。

第一部司会の白川真澄さんは「安倍政権のレジーム転換に反対するためにどのようなオルタナティブが求められているのか」と述べ

た。識派官僚が「そんなことを国民に隠して、あとで日本が大変な事態になったら、あなたはどの責任を取るのか」と迫ったら、逆に「はき違えるな、我々の仕事は、国民を騒がせないことだ」と言い返されたそうである。

様々な政策が提言されている。集落営農型のモデルでは、十分な所得を得られる専従者と多数の補助的構成員との役割分担というスタイルが提案されている。農業だけでは自立できない兼業農家の役割の再評価や、環境保護に対する直接支払いなどを社会政策として導入すべきだと主張する。まだまだ理想的な提案という色彩は強いが、諸外国の例などあげて、政府の喧伝する大規模化による「農業自立政策」とは異質

## シンポ「このままでいいのかわたしたちが選ぶ未来は？」

開く

12月1日、シンポジウム「このままでいいのかわたしたちが選ぶ未来は？」が明治大学で行われた。主催は実行委員会。諸運動が互いの違いを留保しなから、それを超えて結びつくために共有すべき共通認識は何なのかをめぐって報告・討論が行われた。

第一部司会の白川真澄さんは「安倍政権のレジーム転換に反対するためにどのようなオルタナティブが求められているのか」と述べた。識派官僚が「そんなことを国民に隠して、あとで日本が大変な事態になったら、あなたはどの責任を取るのか」と迫ったら、逆に「はき違えるな、我々の仕事は、国民を騒がせないことだ」と言い返されたそうである。

戦直後、敗戦は誰にも明らか。冷戦構造の中で時間をかけ、否認するようになった。日本の大部分は想像力が欠けている。敗戦の自覚の割合が高いのは沖縄。安倍ほど訪米して米国から冷たい仕打ちを受けた首相はいない。米国の安倍政権にイライラしている。安

倍の戦後レジームからの脱却とは永続敗戦レジームの純化」

山口さんは「福島第一原発事件は解らないことだらけ。規制する側がされる側の虜になり、利益相反が日常茶飯事。この体制を解体するには革命しかないのかもしれない。」

生活者・市民が専門家を規制する必要がある」

第二部では、女性、農業・農村、沖縄連帯、オスプレイ、原発についての報告と討論が行われた。

見直さなければならぬ。原発再稼働は愚か。いま文明の転換点に立っている。地球全体が一つの生態系。速さは麻薬。利便性、快適性を求める技術の発展が生命系の循環を断ち切る。知の世界でも『足るを知る』必要がある。どこまでもXを追求はしないという規範が必要。一度獲得した『知』でも捨てる必要がある。DDT、フロンガス、

### 農業を失うことの意味

冒頭に書いたように、TPPの影響は様々な領域に及ぶ。中には食や農の分野以上に、深刻な社会崩壊を招く、と懸念されるものも数多くある。

しかし、農業をはじめとする一次産業の崩壊は、一度失ったらその回復に何十年も、ことよったら何百年もかかると思われれるものもたくさんある。奪われる時間や歴史という観点から言えば、私たちはまず、この食や農こそを守らなければならぬと思う。そんなことを再確認させてくれる著作である。

滝川一郎

# 秘密保護法廃案求め国会を包囲

## あきらめず秘密保護法廃止へ！



12月6日、安倍政権は参院で特定秘密保護法案を強行採決した。

秘密保護法は何か秘密なのか明らかにならず、政府の違法行為を秘密として隠蔽することが出来る。それを内部告発しようとする公務員、ジャーナリスト、市民が共謀の段階から処罰される。国際原則であるツ

村、北海道釧路町など）が相次いでいる。

保守系議員が多数を占める自治体議会でも、しかも国政に関する決議が急速に広がったのは、第一に市民やマスコミを通じた反対世論の広がりが反映したから

特定秘密保護法案が衆議院で強行採決された6日後の12月2日、東京都国立市議会で「秘密保護法案の廃案を求める意見書」が可決した。

しかしこれだけの重要法案であったにも関わらず、自治体議会の動きは鈍かった。9月定例会議の時点では、全国で反対もしくは慎重の決議（意見書）が上がったのは福島県議会と長野県

重松朋宏（国立市議会議員）

国立市でも11月に入った頃から急ぎよ市民運動が起こり、学習会や街頭宣伝に精力的に取り組む、それがマスコミの地域面に掲載されるなど、地域世論が掘り起こされていた。

ワネ原則に反する法案として、国連特別報告者と国連人権高等弁務官も重大な懸念を表明。外国特派員協会など国内外のジャーナリスト、表現者、人権NGOなどさまざまな立場の人々が表現の自由、知る権利を侵害する悪法として廃案を求めた。だが、安倍政権は「絶対モテはアロ」（自民幹事長

ない重要法案を短時間で強行する安倍政権のやり方が、「このままではマズイのではないか」との危機意識を急速に自治体議員に広げることになった。市民の陳情を待たず、議員提案で決議をあげたところも多い。

国立市の場合、12月議会初日に緊急決議で「慎重審議を求める」意見書をあげようとの話が議員間で出たのは、衆議院強行採決の日

国会ではみなんなの党や維新の会が法案修正で合意し、参議院での可決も秒読みに入る中、市議会での賛否も微妙な状況だった。ところが逆に中間派の政党系議員から「慎重審議」でよいのか」と言われ、前日に「反対」の意見書案でまとまり、結果的には13対7と大差をつけて決議された。

国会では与野党対立して

ヒューマンチェーン行動が行われ、6000人が国会を取り囲んだ。また、自公が公聴会を強行したさいたま市の会場前では、駆けつけた市民が暴挙に抗議した。だが、安倍政権は5日に参院国家安全保障特別委員会での法案採決を強行

国会包囲する反対の声

### 福島原発告訴団が 検審第2次申立と 汚染水事件告発

### 福島原発告訴団が 検審第2次申立と 汚染水事件告発

9月9日、東京地検は東京五輪決定にマスコミの関心が行っている日に合わせ、福島原発告訴団が告訴していた東電役員ら33人の不起訴処分を決定した。しかも、検察庁は福島で事件

9月9日、東京地検は東京五輪決定にマスコミの関心が行っている日に合わせ、福島原発告訴団が告訴していた東電役員ら33人の不起訴処分を決定した。しかも、検察庁は福島で事件

告訴団はこの不当極まり

挙に各地から駆けつけた人々が抗議の声をぶつけた。「民主主義の危機」として国会へ向け、抗議の声を上げる10代の参加者も。

6日は朝から国会前で集会・行動が行われ、「秘密保護法反対」「強行採決を許さないぞ」の声が高まりました。

また、9月3日に告訴団は放射能汚染水海洋放出事件に関して、東京電力の旧経営幹部32名及び法人としての東京電力株式会社を公害罪容疑で福島県警察に刑事告発した（10月11日、告発受理）。

11月22日、福島原発告訴団は東京検察審査会への第2次申し立てを行った。

武藤類子さんは「真実を明らかにするため、今なお

発。国会議員面会所向かいの議員会館前も、国会正門前も、秘密保護法に反対する人々で埋め尽くされている。デモ隊と呼びして「強行採決反対」の声が国会を包む。

午後11時過ぎ、参院での強行採決の報が届くと、「絶対認めないぞ」と怒りの声

日航墜落事故で検察審査会申し立てを行った海渡雄一弁護士はその経験を述べ、「08年の時点で東電が15・7メートルの津波を想定していた。だが、この事実を知っている人は例えば秘密保護法反対集会でも会場で1、2人。隠されている

河合弘之弁護士は「今回、審査請求は6人に絞った。検審委員は市民なので一般的な意見が大事。検察への告訴では、右翼による菅元首相告訴などと一緒に扱われ、私たちが菅元首相らを告訴したかのように報道された。

検察の不起訴決定は政治的。県民として被曝をした福島地検が処理をして、不起訴でも福島県民が委員の

日比谷集会などを行ってきた「秘密保護法」廃案へ！実行委員会は、「秘密保護法」廃止へ！実行委員会と改め、廃止運動を進める。実行委員会では1月通常国会開会日の昼間と夜に秘密保護法廃止を求める国会包囲行動を呼びかけている。

検察は強制捜査も実況見分も被疑者取調もしていない。防護服を着て現場検証をすべき。強制捜査をすればマスコミなど証拠が出てきた可能性はある。ミスというよりやる気がない。はじめから結論ありき。検察審査会に審査してもらおうしかない。

場合によっては再告訴という手もある。不起訴撤回のたたかいを」

保田行雄弁護士は「水俣病でも50〜60年代当時は刑事責任を考えられておらず、88年になって社長、工場長が起訴され、有罪になった」

集会ではJR福知山線事故遺族の藤崎光子さん、申し立てに参加した原発事故避難者らが発言。

# 「生活保護制度」をもっと知りたい方へ

『生活保護から考える』（稲葉剛）  
『生活保護で生きちゃおう！』（雨宮処凛・和久井みちる）

## 和久井みちる

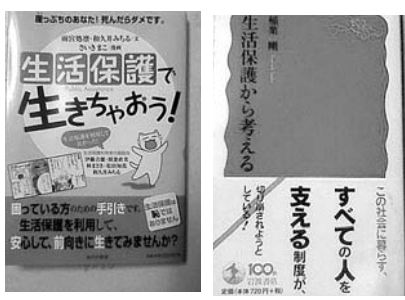
生活保護について理解を深めたい方に、最近、出版された本を二冊ご紹介しま

『生活保護から考える』  
（稲葉剛著／岩波新書／720円）（税別）

中での生活保護の役割、制度運用の厳しい現状と問題点を様々な事例を紹介しながらひも解いていきます。生活保護を利用している当事者へのインタビューも掲載されており、当事者の暮らしや思いもよくわかりま

『生活保護で生きちゃおう！』（雨宮処凛・和久井みちる）

『生活保護で生きちゃおう！』は、生活保護で暮らすというものの意味、「生活保護」とは社会全体にとって、また個人にとっても何なのか、また、生活保護を必要とする人にとって「適正」



この著書はその法改正を見据えて、社会保障全体に運用がなされなかった時

初めに制度に関心を持った方も関心のある項目から読んで深めていける、おススメの一冊です。

第2章は、現在、生活に困っている方や、保護の申請をしたけれど世間の目が気になって戸惑っている・・・そんな方々へ、こ

第3章は雨宮処凛さんの書き下ろし「今、改めて生きさせろ！」です。生活保護の利用は生きることの選択です。困っている人たちが堂々と輝いて生きていける、やさしい社会を目指して、きっぱりスキリと想いを代弁してくれるステキな最終章です。

清水敏保さん（上関原発を建てさせない祝島島民の代表）は「中国電力から4800万円の損害賠償を起された。海での行動には1日50万円の間接強制がかかっている。また原発をつくらうとしている。高江や経産省テントと連携していく」

# 横堀現闘本部破壊策動許さない

## 三里塚・東峰現地行動

12月8日、12・8三里塚・東峰現地行動が行われた。主催は三里塚空港に反対する連絡会。

14年度中の年間飛行回数30万回を目指す成田空港会社は周辺住民の反対を無視して夜間飛行時間延長を強行。2020年東京五輪決定で空港需要拡大が喧伝され、空港機能拡張がキャンペーンされる中での集会となった。参加者は45人。

12月8日、12・8三里塚・東峰共同出荷場跡地での集会で山崎宏さん（横堀地区）は「私たちの一坪共有地は最高裁までたかかったが、奪われた。土地は奪われたが、用地内掘削が残っている。掘削現場を

を鉄板で囲んで立ち入りを妨害。共有地強奪に続き、横堀現闘本部建物の破壊を狙って「申入書」(12月3日付)を三里塚芝山連合空港反対同盟(代表世話人 柳川秀夫)に送りつけてきた。「申入書」では「法的措置もやむを得ない」と恫喝してきた。

8日、東峰共同出荷場跡地での集会で山崎宏さん（横堀地区）は「私たちの一坪共有地は最高裁までたかかったが、奪われた。土地は奪われたが、用地内掘削が残っている。掘削現場を

12月8日、12・8三里塚・東峰現地行動が行われた。主催は三里塚空港に反対する連絡会。

14年度中の年間飛行回数30万回を目指す成田空港会社は周辺住民の反対を無視して夜間飛行時間延長を強行。2020年東京五輪決定で空港需要拡大が喧伝され、空港機能拡張がキャンペーンされる中での集会となった。参加者は45人。

12月8日、12・8三里塚・東峰共同出荷場跡地での集会で山崎宏さん（横堀地区）は「私たちの一坪共有地は最高裁までたかかったが、奪われた。土地は奪われたが、用地内掘削が残っている。掘削現場を

を鉄板で囲んで立ち入りを妨害。共有地強奪に続き、横堀現闘本部建物の破壊を狙って「申入書」(12月3日付)を三里塚芝山連合空港反対同盟(代表世話人 柳川秀夫)に送りつけてきた。「申入書」では「法的措置もやむを得ない」と恫喝してきた。

8日、東峰共同出荷場跡地での集会で山崎宏さん（横堀地区）は「私たちの一坪共有地は最高裁までたかかったが、奪われた。土地は奪われたが、用地内掘削が残っている。掘削現場を



連続してデモへ。農民追いつくしをやめる」「一坪共有地強奪を許さない」とシブプレヒコールをあげながら、開拓組合道路へ。

その後、参加者は横堀へ移動し横堀大鉄塔下

# スラップ訴訟 止めよう！ 全国の被害者がシンポジウム

11月23日、11・23全国スラップ訴訟止めよう！シンポジウムが東京で行われた。

スラップ(SLAPP)とは、市民・住民が生存権、環境を守るために行う表現活動に対して、国や大企業などが司法を使って、時間的、精神的、金銭的に負担をさせようとするもので押しつけようとするもの。米国などでは対策が進んでいるが、日本ではまだ概念も広まっていない。シンポは全国のスラップ被害者が集まった初の集会となった。

シンポでは、オリコン・スラップ訴訟の被害者で米国の取材をした鳥賀陽弘道さんが基調講演。「私はメディアにコメントしただけオリコンに訴えられた。裁判対策に忙殺されて仕事ができなくなり、裁判は大きな負担だった。スラップは権力者が都合の悪い意見・情報を公にした者を訴えることで裁判コストをかけさせ、潜在的批判を封じる裁判制度の悪用。スラップは被害者を疲弊させ、裁判官に無駄な仕事をさせる。論点のすり替えが行われ、基地や原発の是非など本当の争点が議論されなくなる。仮に裁判で負けたかのような誤解が広まる。マスコミは訴訟になると手を引く。」

日本スラップ対策は20年遅れ。米国では20年以上前からスラップ防止法がある。裁判所がスラップと認めれば、訴えた側が弁護士費用を支払う。報告。沖繩・高江では国がヘリパット基地反対運動をつぶすために、08年11月座り込みをしていた住民など15人に対し通行妨害禁止仮処分を起した。被告には現場に行っていたことがない人、7歳の子もいた。国は子どもについては取り下げ。12人については抗議行動は正当な表現活動だとして請求が却下された。だが、1人については本訴で「妨害」を禁じる不当判決が出され、上告中。

不当な判決を受けた伊佐真次さんは「沖縄防衛局は説明責任を果たしていない」とスラップ訴訟を起した国を批判。上関では09年、上関原発に反対する祝島住民など4人が中国電力から訴訟を起